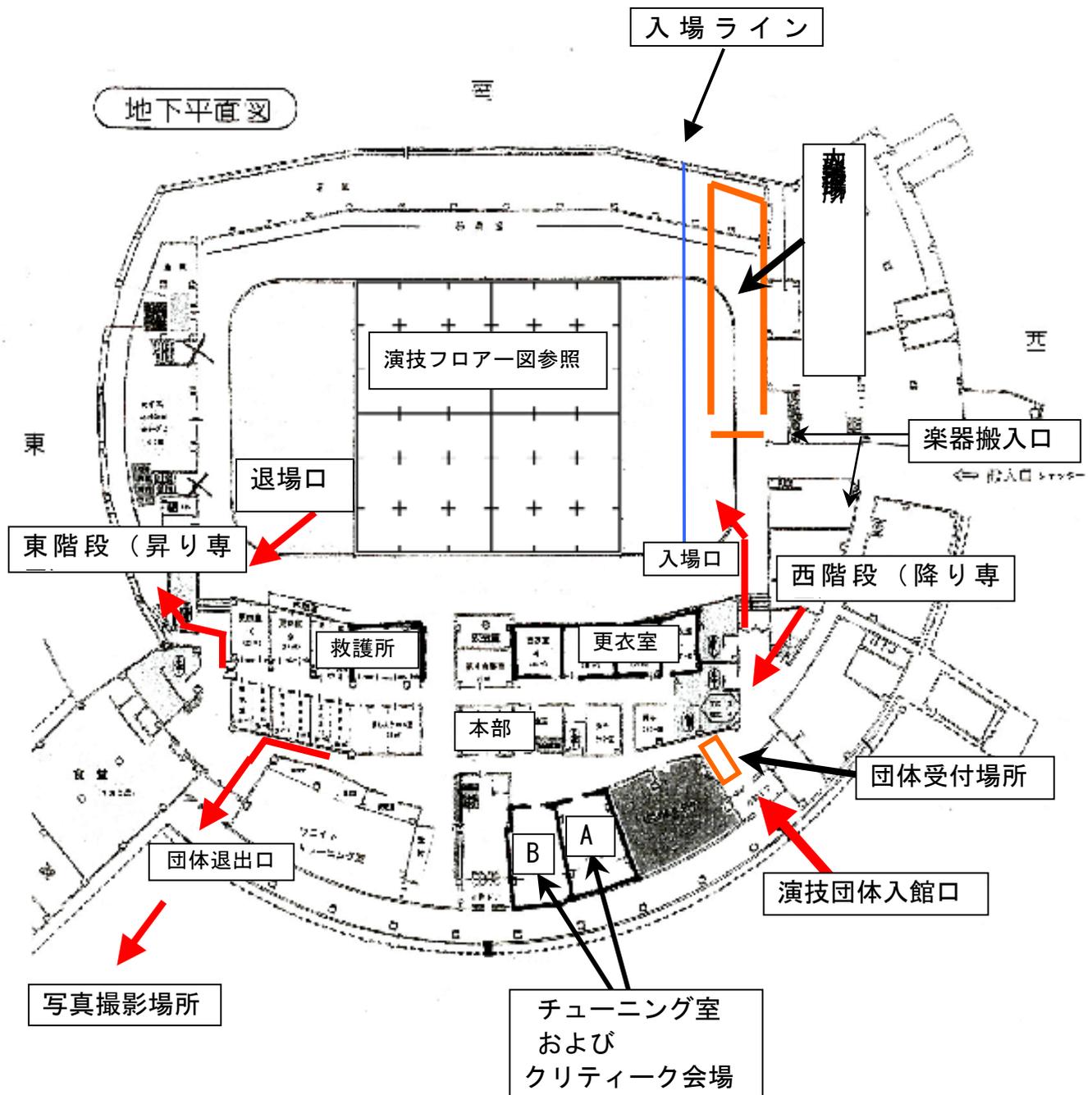


第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル大会要項

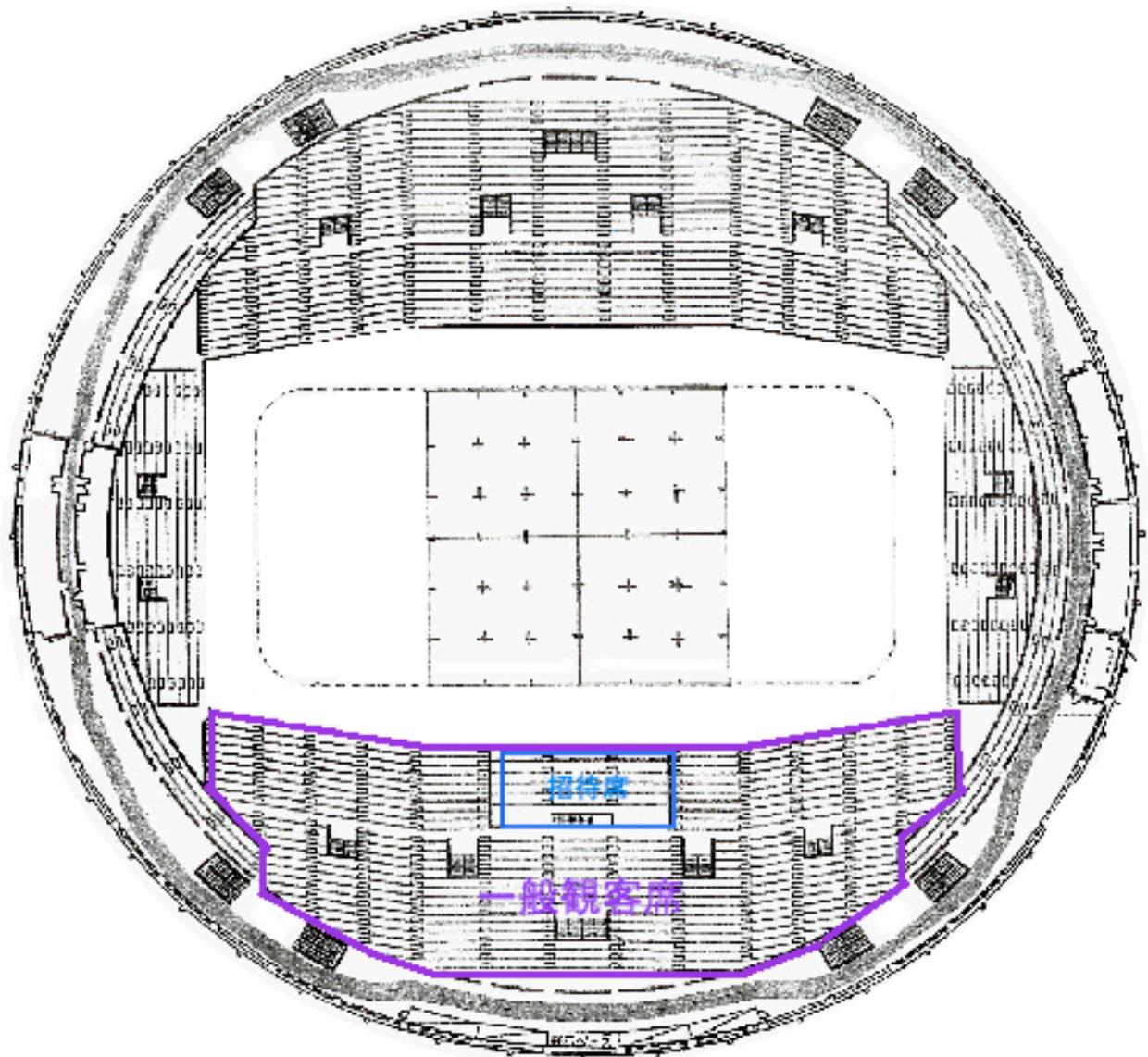
- 大会名称 第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル
兼第45回マーチングバンド全国大会北海道代表選考会
兼第17回マーチングステージ全国大会北海道代表選考会
- 開催日時 平成29年10月1日(日) 開場 12:30
開会式 13:20
開演 13:30
閉会式 15:30 予定
- 開催場所 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
北海道札幌市南区真駒内公園1番1号 TEL:011-581-1972
- 主催 日本マーチングバンド協会北海道支部
- 共催 北海道新聞社(予定)
- 主管 第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル実行委員会
- 特別協賛 株式会社フォトクリエイト、株式会社ヤマハミュージックジャパン
- 協賛 株式会社ほくせん、Bonds-company
- 後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道吹奏楽連盟
北海道高等学校文化連盟、報道各社(予定)
- 主旨 主催協会の目的である「マーチングバンドの活動を通じた青少年の健全な育成と資質の向上と音楽表現の向上」の精神のもと、全道各地から優れたマーチングバンドを一堂に集めて、より一層の技術向上と各団体の親睦をはかり、地域社会に寄与するために開催されます。
また、小学生・中学生・高等学校の部では、この年齢期の青少年の持つ鋭敏な感性と活力のある心身を育てるために、一般の部では、幅広い年齢層の中で、躍動美・整然美・音楽性・表現力を発表する場の提供を行います。技を競うことにより、マーチングバンドの質の向上と充実の波及効果及び教育的な効果を目指していきます。
- 入場券価格 ・一般 1,800円(プログラム付き)
・小・中学生、高校生 1,300円(プログラム付き)
- その他 ・参加予定人員 約800名
・観客予定人員 約1,500名
・プログラム発行部数 2,300部

会場図及び入退場の導線



- 北と東の間やや北寄りに一般観客入場口があります。
- 地下フロア一階より1階出演者席への移動は東階段（昇り）と西階段（降り）を利用。
- 演技後の楽器の搬出は団体退出口から行き、写真撮影後に楽器搬入口へ移動し積み込みを行います。
- 写真撮影は会場一般観客入場口付近で行いますが、その際の出入りは退出口を使用します。雨天の際は場所を変更します。

座席配置図



- 北と東の中間やや北寄りに一般観客入場口があります。
- 招待席は招待状所持者のみが入場できます。
- 南側観覧席は団体控え席として、各団体人数分割り当てます。
- 補助員及び引率者は一般観客席への入場は観覧チケットが必要となります。

会場周辺図



- 一般観客用の駐車場は真駒内公園全体の駐車場が使用できますが、行事の重複などによって、大変混み合うことが予想されますので、公共交通機関のご使用をお願いします。
- 会場周辺の路上駐車は近隣住民の方の迷惑になり、また通報も多く、警察当局が厳しく取り締まっており大会事務局への指導もしばしばありますので、決して駐車しないようお願いいたします。
- 参加団体及び関係者で駐車券を提示した車両のみ、指定駐車場への駐車が許可されます。
- 駐車券の配付を受けた車両は場内経路指示に従って移動をお願いします。

1. 参加資格

(1) 平成29年9月1日までに、一般社団法人日本マーチングバンド協会に加盟登録を完了していること。

※大会参加は加盟登録名で参加すること。

(2) 参加メンバーは年間でその団体に所属していること。(※短期メンバー補強は不可)

(3) 各地区協会より推薦されていること。(※地区協会の推薦書を同封のこと(コピー可))

(4) 指定する期日までに下記の出場手続きを終えていること。(平成29年9月1日(金)必着)

- ・参加申込書
- ・参加費の納入
- ・音楽著作権に関する書類の提出
- ・その他指定した書式の提出

(5) 出場に際し協会加盟員徽章を着用していること。

※団体受付時には、ユニフォーム又は上着などの係員が確認しやすい場所に、徽章を付けてください。受付時以降の出場演技者の会場出入りの際は、ユニフォームの着用又は徽章の着用で確認します。

※団体受付を通過される演技者以外の方は、受付時にお渡しするパスを必ず着用してください。尚、団体受付は団体毎に時間を設定します。時間厳守をお願いします。時間前は受付できません。

(6) 第2部・第3部の全国大会代表選考会に出場する団体は、推薦を受けた場合必ず出場できること。

第2部へ参加する団体は、本部より今年度の大会案内がされていないため、前年度参考で進めていくことをご了承ください。(10月頃案内予定)

(7) 日本マーチングバンド協会北海道支部より出演依頼された団体または個人であること。(特別出演)

(8) 第2部、第3部は団体エントリー料10,000円、構成メンバーの参加費は各部出場毎、1人につき1,300円とする。

(9) 未加盟団体は2部のみ参加できます。

*詳細は、日本マーチングバンド協会ホームページをご覧ください。

<http://www.japan-mba.org/>

2. 構成と編成

本大会は次の部門に分けて開催する。

【第1部】第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル

【第2部】第17回マーチングステージ全国大会北海道代表選考会

【第3部】第45回マーチングバンド全国大会北海道代表選考会

(1) 構成

部 門		構 成	構成メンバー	
第 部	マーチングバンド部門 カラーガード部門	自由	指揮者も構成メンバー登録をする。 マーチングバンド部門の幼保の部は全国大会推薦枠がありますので、大会総務に問い合わせください。出演は第1部フェスティバルのみの構成になります。	
	第 3 部	第2部 ステージマーチング部門	小学生の部	単一加盟団体の小学生 複数加盟団体の合同小学生
中学生の部			単一加盟団体の中学生 複数加盟団体の合同中学生 単一加盟団体の小・中学生 複数加盟団体の合同小・中学生	
第3部 マーチングバンド部門		高等学校の部	単一加盟高等学校の高校生 同一学校法人内の高等学校及び中学校による合同 複数の公立高等学校による合同 (公立高等学校の統廃合に伴う移行期間中) ※上記のような特殊事情がある場合に限り、合同による出場を認める。	
		一般の部	単一加盟団体による構成	未就学児を除く

- ①メンバーとは、当日演技フロアーに入場し、演奏演技及び指揮を行なう者とする。
構成メンバーとして登録されていない者は演技フロアーの入場は認めない。
- ②複数の部の登録メンバーの重複、参加は認めるが、同一の演技をしてはならない。
- ③全ての構成メンバー（指揮者も含む）は協会加盟員徽章を着用すること。
(徽章の無いものは、構成メンバーとして認めない。)
- ④チェックイン時の構成メンバーの増減は登録編成内であれば認める。
- ⑤申込時構成メンバーの変更は認めるが、チェックイン時に内容を申告すること。
また、編成の変更は認めない。
- ⑥構成メンバー以外の引率者・補助員の変更については、チェックイン時に行なう。
※引率者・補助員については「6. 搬入搬出」を参照。
- ⑦カラーガード部門については第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル実行委員会へお問合せください。

(2) 編成 (第3部のみ)

部 門	構 成	編 成
マーチングバンド部門	小学生の部	小編成-指揮者を含めて50名以内 大編成-指揮者を含めて51名以上 ※小編成、大編成の順で演技する。
	中学生の部	小編成-指揮者を含めて54名以内 大編成-指揮者を含めて55名以上 ※小編成、大編成の順で演技する。
	高等学校の部	小編成-指揮者を含めて54名以内 中編成-指揮者を含めて55名以上90名以内 大編成-指揮者を含めて91名以上 ※小編成、中編成、大編成の順で演技する。
	一般の部	小編成-指揮者を含め54名以内 大編成-指揮者を含めて55名以上 ※小編成、大編成の順で演技する。

※第45回マーチングバンド全国大会への推薦を受けた団体は本大会登録編成で出場登録すること。

(3) 楽器編成

1部・2部

- ①楽器編成は自由とする。
- ②事前申請のあった場合のみ電源の使用を許可する。但し、100V×15A以内の容量とする。

3部

- ①楽器編成は自由とする。
- ②シンセサイザー、エレクトリックピアノ、エレクトリックギター、エレクトリックベース等の電源を必要とする電子楽器、及びピアノ、オルガン、ハーブシコード、チェレスタ等の重量のある鍵盤楽器は使用不可とする。

*** その他類似するものがある場合は、実行委員会に問い合わせること。**

3. 演奏演技

(1) 演技フロアー

- ①演技フロアーは別記の通りとする。(P3 参照)
- ②演技中の演技フロアーへの入場は構成メンバーのみとする。

(2) 入退場

入退場のラインは団体の構成メンバーが通過する際、時間計測及び入退場認定の判断を下す重要なラインなので以下の事項に留意されたい。また、本大会においては引率者・補助員も入場ラインを超えて演技フロアー内に入ることになるが、演技中は指定の場所で待機すること。

①入場ライン

出演団体の演技者及び演技関係者の先頭が通過し始めた時点より時間計測を開始する。
入場を開始した団体は、全員が速やかに入場ラインを通過し演技を開始すること。

②退場

退場ラインはないが、30m四方のマーカーの最前線を全員が通過した時点で退場とみなす。

(3) 出場順番

昨年度、会長賞・理事長賞を受賞した団体は各部最後の演奏となり、それ以外の団体については人数順とする。

4. 演奏演技時間

部 門		構 成	演奏演技時間	備 考
第 部	マーチングバンド部門	自由	15分以内 入退場を含む	幼保の部で全国大会へ推薦される場合の演奏演技時間は、入場から退場までで8分以内とする
	カラーガード部門	自由	10分以内 入退場を含む	
第 部	ステージマーチング部門	小学生の部 中学生の部 高等学校の部 一般の部	6分以内	演技フロアは、横18m×縦18mの正方形を、30mフロア内の方前に特設する。ポイント間隔は4.5mとする。 ※P3 フロア図参照
第 部	マーチングバンド部門	小学生の部 中学生の部	6分30秒以内	
		高等学校の部 一般の部	8分以内	

入場開始から演技演奏開始までを図示すると次のようになります。

入場からスタンバイ	演奏演技時間	退場
大会係員から入場の指示が出たら速やかに入場し演奏演技の準備をする。ただし入場から30秒は演奏演技を厳禁とする。この間に各団体紹介アナウンスを行なう。「それではどうぞ」の後、演奏演技を開始する。		演奏演技計時補助員は演奏演技終了の合図が出たら、速やかに退場する。退場時の演奏演技は厳禁とする。
計時スタート 各団体の引率者より1名は演奏演技計時補助員（指揮者も可）となり、演奏演技開始の合図を黄色の旗を振り下ろし行なう。審判はこの合図をもって計時を開始する。 ※尚、演奏開始の合図の旗を振り下ろす前に演奏が開始された場合は計時を開始する。		計時ストップ 演奏演技時間補助員は演奏演技終了の合図を黄色の旗を振り下ろし行なう。審判はこの合図をもって計時を終了する。 ※尚、演奏終了の合図の旗が振り下ろされた後に演奏が行われていた場合は計時を続行する。

5. 器物

「器 物」とは、手具類・ユニフォーム類のどれにも属さず、演技者以外の物を総称して器物とする。
なお、装飾を施した楽器や楽器運搬台は器物とみなす。

「手 具」とは、演技者個人が容易に携帯でき、自らが用いる小道具類を手具とする。

「特殊効果」とは、フラッシュ、ストロボ・各種ライト類（ケミカル類含）等の光の効果を用いたもの全てを特殊効果とする。

①手具・器物の搬入搬出は、安全かつ迅速に行なうこと。また責任を持って搬入搬出をすること。

尚、ここでいう搬入搬出とは演技フロアへの入退場だけのことではなく、会場への入場から退場までの全行程のことをいう。

* 搬入搬出は指定した通路を使用し、全ての構成メンバー（手具・器物を含む）は定められた場所で待機すること。

* 待機エリア及び入退場口については実行委員会が指定する。

②器物の大きさは、次に示す規格内の大きさとし、参加申込書の『2 演奏演技内容申告書』内、特殊効果欄に記入すること。

規 格：1 m 8 0 cm×1 m 2 0 cm×1 m 5 0 cm 以内の立方体

重 量：フロア内を一人で持ち運びできる範囲内

* 器物を重ねたり密着して並べる場合は、その状態が規格内の大きさであること。

* 演技フロア内を複数的人数で一つの器物を持ち運んでも良い。

* フロアに敷く布は器物であるが制限を設けない。

③特殊効果は、使用方法・数量等の詳しい説明書を申請し許可された場合のみ使用可能とする。

* 乾電池以外の電源の使用は禁止する。

* 化学反応で発光するケミカルライト類は製造メーカーにより安全保証されているもののみ使用可能とする。

* 火気・ガス類・液体類及・固形燃料類等及び会場の電源の使用は禁止とする。

④指揮台は大会本部が設置したもののみ使用すること。

* 第2部は設置しませんので、必要な団体は各自準備すること。

(指揮台を借用希望団体は事前に申請すること。)

* 第1部・第3部の指揮台（大小共に）は固定としますが、構成により設置位置は変わります。

(P 3 フロア図参照)

* その他の場所での指揮台使用は、各団体での持ち込みを可とする。

⑤スパンコールやビーズ等衣類の付属品は、他の団体の演技の妨げとならないようにすること。

⑥床を傷つける危険がある楽器・器物を使用しない。金属製、プラスチック製の車輪、脚部は禁止のため、ゴム車輪、ゴムキャップを使用すること。

⑦国旗等の使用は敬意を損なわない最大限の注意をし、フラッグ等に用いる場合は原形の使用は禁止とする。

⑧特別出演、幼保の団体及び第3部の電気の使用は禁止する。

(乾電池・ビブラフォン用のバッテリーは除く・ステージ全国大会選考会は100V電源可)

※これらに関し、違反があった場合は、審判員の指示により使用を禁止とする。

6. 搬入・搬出

①楽器・手具・器物の搬入搬出は安全かつ迅速に行なうこと。また、責任を持って搬入搬出をすること。

②引率者及び補助員

ア. 全参加団体は、構成メンバーを補助する引率者と出演前後の搬入・搬出のため補助員を登録することができる。当日の団体受付時にパスを受け取り、首から下げることとする。

イ. 引率者、補助員は次の人数とする。

	引率者	補助員
第1部	全団体3名迄	小学生の部のみ5名迄
第2部	構成メンバー1□ 10名につき1名	全団体5名迄
第3部	全団体3名迄	小学生の部のみ5名迄

ウ. 引率者及び補助員は入退場時のフロア内での搬入搬出も許可するが、演奏演技時間内の搬入搬出補助は厳禁とし、演技フロア前方の指定の席で待機すること。

演技終了後・退場後は搬出作業を迅速に行なうこと。

エ. 引率者及び補助員は出演者席への移動はできるが、一般観客席への入場には入場券の購入が必要。

※引率者及び補助員については協会徽章、参加費は不要である。

7. 罰 則

(1) 違反失格

①『1. 参加資格』、『2. 構成と編成』規定に反した場合。

※第1部に関しては警告とする。

(2) 減点10点（規定に反した項目につき）

①『3. 演奏演技』、『4. 演奏時間』、『5. 器物』、『6. 搬入搬出』規定に反した場合。

※第1部に関しては警告とする。

(3) 警告

①大会実行委員会の指示に従わなかった場合。

②他の参加団体に迷惑となる行為のあった場合。

③非社会的な行為、大会主旨に反する行為のあった場合。

④意図的な規定違反があった場合。

※上記に該当した団体は、実行委員会が警告書を発送する。

8. 大会における著作権について

大会参加における著作権は著作権法に基づきこれを遵守すること。

1. プロップ等に人物画、キャラクター等をデジタルコピーまたは模写して使う場合は肖像権等の使用許諾が必要です。（各団体で申請し、使用許諾の証明書のコピーを参加申込時に必ず添付すること。証明書が無い場合は使用できません。）
 - (1) 国旗、外国旗、国旗に準じた物、国旗に類似した物（衣装を含む）を使用する場合は、敬意を損なわないようその扱いに十分注意すること。フラッグ等で使用する際は、原形のままで使用しないこと。
 - (2) 肖像権等の発生する物（絵・写真・ロゴ等）を使用する際は、各団体の責任のもとに肖像権管理者の使用許諾を得て証明書（任意様式）を提出すること。
2. 使用曲には次の音楽著作権利用許諾申請が必要です。

マーチングバンド部門・ステージマーチング部門

- (1) 市販の楽譜利用、および自作曲の場合は、適用除外となります。

※市販の楽譜を使用する場合はスコアの表紙及び、購入を証明する（領収書等）のコピーを添付して頂きます。
- (2) 原曲を自らアレンジした楽譜で利用する場合は、各団体で原曲の作曲者または著作権を持っている出版社に対して編曲使用許諾申請を行ってください。尚、著作権は著作者の死後50年を経ると消滅する事が原則ですが、著作者の著作権の有無はJASRAC（日本音楽著作権協会）の団体管轄支部（日本音楽著作権協会北海道支部）に直接お問い合わせください。（使用料等の金額ならびに支払方法も提示されることがあります。）
- (3) **使用許諾を証明する書類を提出すること。**

尚、著作権を所有している団体によっては公式の許諾用書式がない場合も想定されますが、その場合は、著作権所有の団体名、担当者名、連絡先、許諾に関する対応をされた期日等を記入し、許諾に要した金額の領収書等（コピー可）を添付してご提出ください。

※（2）、（3）に該当する団体は、申込期日までに使用許諾の証明書及び領収書のコピーを提出しなければ演奏できません。

9. 開会式・閉会式

- (1) 開会式
 - ・前年度「会長賞」「理事長賞」受賞団体は、優勝杯返還のため1名参加。（レプリカが授与されます。）
 - ※今大会では開会式の全団体のプラカード入場は行いません。
- (2) 閉会式
 - ・各団体衣装を付けて全員参加すること。（プラカード係1名を含む。）
 - ※開会式・閉会式もプログラムの一部である見地から、入場行進整列姿勢等それにふさわしい態度でのぞむよう留意されたい。

10. 表彰

(1) 第1部 マーチングバンド部門・カラーガード部門共通

a 奨励賞...すべての団体に榮譽を称え贈る。

(2) 第2部 (第17回マーチングステージ全国大会代表選考会) ステージマーチング部門

a 金賞...別表による

b 銀賞...別表による

c 銅賞...別表による

(3) 第3部 (第45回全国大会代表選考会) マーチングバンド部門

a 金賞...別表による

b 銀賞...別表による

c 銅賞...別表による

d 会長賞...高等学校の部・一般の部より、もっとも優秀な演奏演技を行った団体

e 理事長賞...小学生の部・中学生の部より、もっとも優秀な演奏演技を行った団体

※d, eには北海道新聞社賞が併せて授与されます。

(4) 全国大会代表の推薦については、採点された得点により次のように推薦団体を決定する。

第2部 第17回マーチングステージ全国大会推薦枠

部 門	構 成	編 成	推薦枠	選考方法
ステージマーチング部門	小学生の部 中学生の部 高等学校の部 一般の部		2～3	構成にとらわれず、得点の高いものから2～3団体推薦する。

第3部 第45回マーチングバンド全国大会推薦枠

部 門	構 成	編 成	推薦枠	選考方法
マーチングバンド部門	小学生の部	小編成 大編成	1	編成にとらわれず、得点の高いものから、1団体を推薦する。
	中学生の部	小編成 大編成	1	
	高等学校の部	小編成 中編成 大編成	1	
	一般の部	小編成 大編成	2	

1 1. 審査員について

第 35 回記念大会審査は、次の 3 名で行います。

大 川 勝 己 先生 ～ 日本マーチングバンド協会公認指導員
Drum Corps Japan 公認審査員
Japan Cup 審査員

【主な審査歴】

日本マーチングバンド協会全国大会
Drum Corps Japan、Japan Cup 他

目 良 康 浩 先生 ～ 日本マーチングバンド協会公認指導員
Drum Corps Japan 公認審査員
Japan Cup 審査員

【主な審査歴】

日本マーチングバンド協会全国大会
Drum Corps Japan、Japan Cup 他

田 中 義 之 先生 ～ 日本マーチングバンド協会公認指導員
Drum Corps Japan公認審査員

【主な審査歴】

日本マーチングバンド協会全国大会
Drum Corps Japan、Japan Cup 他

1 2. クリティーク（審査講評の解説）

クリティーク（Critic）とは、閉会式後に審査員が希望団体に直接審査講評に基づいて各団体指導者もしくは学生リーダーに、今後の技術的な問題点及び練習方法やショーコーディネートについてアドバイスをすることです。

- (1) クリティークは閉会式終了後に開催します。（希望団体のみ。）
- (2) 各団体の持ち時間はおおむね 10 分以内です。※タイムテーブルによって短縮される場合があります。
- (3) クリティーク会場：1 階 会議室（チューニング室 A もしくは B を予定）
*当日変更する場合は、場内アナウンス等でご案内します。
- (4) 希望する団体は、別紙参加申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。
- (5) 出場順に関係なく行ないますので、会場準備が出来次第、誘導係に従って中にお入りください。

1 3. その他

- (1) 大会参加に要する経費は参加団体の負担とする。
- (2) 構成メンバーの登録は演技予定者名を記載し参加費を納入する。
- (3) 納入された参加費は返却しない。
- (4) 器物の搬入は指定した通路を使用し、定められた場所（出演者席、大型楽器・器物置場）で待機すること。

※大型楽器・器物置場は狭いので、前の出演団体の搬出に伴って順に詰めてください。

そのため、各団体で大型楽器・器物置場に数名のメンバーまたは補助員の配置をお願いします。

インフォメーション

参加申込先 参加申込期限／平成29年9月1日（金）必着

〒061 1448

恵庭市相生町30-1

第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル実行委員会

総務 高階 亜希

参加費振込先 振込期限／平成29年9月1日（金）入金

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：九〇八

店番：908

預金種目：普通預金

口座番号：3436440

名前：ヤマワキ ケン

参加団体前日打ち合わせ会議を行いませんので、不明な点については事前に「問い合わせ専用FAX用紙」
（北海道支部ホームページよりダウンロード印刷）にて大会実行委員会へ問い合わせください。

*問い合わせ先 大会実行委員会 総務 高階亜希 0123-32-6635（FAX）

事前広報

一般広報 新聞・テレビ等による宣伝

協会広報 協会加盟団体・関係機関・団体等への広報

記録

写真記録（出演団体記念写真・演技風景等）、VTR記録

※協会の承認のもと、指定各社が撮影を行なう。

※一般客の写真・ビデオ等の撮影及び録音は一切禁止とし、発見した場合は当実行委員会が没収します。

宿泊・弁当等の斡旋

（1）宿泊の斡旋は行なわない。

（2）弁当の斡旋は行なう。

※実行委員会指定以外の業者は館内では斡旋できない。

傷害保険

出演者・関係者を対象に、一括傷害保険に加入する。

（保険期限は、平成29年10月1日8時～20時）

参加申し込みについて

申し込みは次の書類を揃え、実行委員会事務局まで郵送してください。

平成29年9月1日（金）必着

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 参加申込書 | 8 入場券申込書（該当の場合） |
| 2 演奏演技内容申告書 | 9 弁当申込書（該当の場合） |
| 3 駐車・通行車両申請書 | 10 広告取りまとめ書（該当の場合） |
| 4 招待状発送リスト（該当の場合） | 11 振込金額確認書 |
| 5 プログラム原稿（写真を含む） | 12 クリティーク申込書（該当の場合） |
| 6 当日アナウンス原稿 | 13 参加者の肖像権等について |
| 7 協会加盟員徽章申込書 | 14 地区協会推薦書 |
| | 15 著作権使用許諾許可証（該当の場合） |

※当協会様式を使用して頂くか類以した形に作成し、用紙のサイズ変更等は避けてください。

※大変重要な書類がありますので、すべて記入漏れのないように確認してください。

※記入の際、不明な点、また様々な事情から提出が遅れる等の事態が生じた場合は、
総務までお気軽にご連絡ください。

※期日を厳守してください。（特別な場合を除き、期日を過ぎた時は出場できません。）

緊急対策

1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、以て不測の事態による人的災害を最小限に軽減することを目的とする。

2. 予防対策

- ①各担当者は、それぞれのポジション内の整理について特に注意し、不必要な物は置かないようにする。
- ②開場1時間前に役員・委員及び係員全員で、消火器所在等の会場内事情を確認するとともに、不審物・危険物の有無の点検を徹底的に行なう。多少でも疑わしき物があった場合には、大会本部に各担当者責任者を通じて連絡すること。
- ③大会本部にて、不審物・危険物等、疑わしきものの現状を確認後、ホール管理事務室に連絡し、係員より処理のための指示を受ける。
- ④開場30分前に再度確認する。
- ⑤大会当日の天候、気温の状況により、体調不良者の発生を防ぐために、暖房・冷房の使用を大会本部で検討・決定する。

3. 緊急事態発生の場合

①火災発生の場合

- ア. 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、各担当責任者に連絡すること。
- イ. 各担当責任者は大会本部に通報し、大会本部はホール管理事務室に連絡する。
- ウ. 消防署または警察署の指示はホール管理事務室と連携を取りながら、大会本部が受け、各担当責任者に連絡する。
- エ. 初期消火については、各担当者が会場内所定の消火器の操作要領を関係係員に確認しておくこと。消防署・警察署に通報後は、自分自身の安全が確保できる範囲で初期消火活動を行なう。被害が甚大な場合は、初期消火することなく、来場者の避難誘導を最優先とする。
- オ. 来場者の避難誘導については、大会本部から連絡（放送）により来場者を混乱させることなく、火元の反対方向に誘導を行なう。避難時のエレベーターの使用は禁止する。避難時は煙の被害を少しでも少なくするため、ハンカチ・タオル等使用する。

②地震発生の場合

来場者に対しては、冷静に対処することを放送・ハンドマイク等で呼びかける。本部の状況判断により、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行なう。誘導にあたっては、各担当責任者の指示を受ける。

③けが人・病人等発生の場合

- ア. 参加団体内部で対応できないけが人・病人が発生した場合には、各担当者を通じて大会本部に通報する。本部は必要に応じて救護係員を現場に向かわせる。（一般来場者の場合も同様とする。）救護係員は医療関係の知識がある者がこれにあたり、大会総務部の管理下で大会本部内に待機するものとする。
- イ. 救護所は、会場内医務室に設置する。軽傷のけが等の対処のため、大会本部内に救急箱を準備しておく。
- ウ. 必要がある場合は、大会本部がホール管理事務室に救急車の出動を要請する。

4. その他

大会実行委員会は、緊急対策の詳細を記載した緊急対策マニュアルを作成し、関係者に周知徹底する。

出演団体への注意事項

アリーナ入場	=団体入口より入場（地階平面図及び会場周辺図参照）
↓	
到着チェックイン	= 事前に指定された時間 に、所定の受付でチェックインの手続きを行なう。 受付において、プログラムを受け取り係員の指示に従い入場する。
↓	
会場の出入り	=出演団体引率者は平服での会場出入りに際しては、必ず実行委員会から配布されたパス券を着用、指揮者、出演者は協会徽章を着用のこと。
↓	
管楽器・器物の搬入	=楽器置場に置く。ピット等の大型楽器は地階フロア指定位置に置く。 ※フロア図参照
↓	
出演者席で観覧	=東側昇降階段を経て、定められた出演者席で観覧する。
↓	
ポイントチェック	=西側昇降階段を経て、指定時間にフロアにおいてポイントチェックを行なう。
↓	
出演者席で観覧	=東側昇降階段を経て、定められた出演者席で観覧する。（出演時間に各自対応）
↓	
開 会 式	=開会式5分前に入場口に前年度「会長賞」および「理事長賞」受賞団体の代表1名は優勝杯を持って集合する。
↓	
チューニング・ウォーミングアップ	=西側昇降階段を経て、指定された場所で行い、本番前に割り当てる。 ロビー、通路での音出しを禁止 する。
↓	
スタンバイ	=後日送付するタイムテーブルに基づいてスタンバイする。
↓	
本 番 ・ 出 演	=実施規定、演奏演技時間を参照のこと。
↓	
退 場	=演奏演技終了後は退場口より速やかに退場し、誘導係員の指示に従って移動する。 ※集合写真を撮る団体は一度屋外に出て会場正面の階段にて写真撮影を行い、出演者退場口より再入場する（雨天変更、地階平面図及び会場周辺図参照）。
↓	
楽器・器物の搬出	=係員の指示に従い、楽器を移動・搬出する。 大型楽器については閉会式終了後、運搬車両等に格納する。
↓	
観 覧	=ゴミは各団体、原則として持ち帰ること。 また、トイレ、更衣室、通路等は全て清潔に使用する。
↓	
閉 会 式 ・ 表 彰	=閉会式5分前に入場口に各団体、出場順に整列する。

○注意事項

- 1 アリーナ内では許可された者以外の写真及びビデオ撮影は禁止。
- 2 施設等の破損については団体個々の責任において対処していただきます。
- 3 ゴミの放置、観客席への不正入場、指定場所以外での練習、移動・退出の遅延等は罰則の対象となることがあります。

出演団体の駐車場について

- ①駐車場の使用は事前登録制を取っております。駐車場をご利用の予定の出演団体は、事前に当日の車両（バス、トラック、普通車）の台数を同封の駐車車両申請書にて申請してください。後日、実行委員会から駐車証を郵送します。
- ②駐車証は車両フロント部の判りやすい位置に明示してください。駐車証の無い車両は駐車場に進入することができません。
- ③会場到着・出発は係員に従いスムーズに移動してください。
- ④メンバーの乗降、楽器の積み降ろしは、駐車場内の指定された場所で速やかに行なってください。

出演団体への各種斡旋について

弁 当

- 斡旋日 大会当日昼食
斡旋金額 一食 700円（飲物込み）
申し込み 申込用紙に記入し、「参加申込書」と共に送付してください。
支払方法 指定口座に9月1日（金）迄にお振り込みください。
変 更 数量変更等は9月22日（金）午後5時迄に大会事務局までご連絡ください。
※当協会として後援をいただいている関係上、必ず指定業者を利用してください。
持ち込み弁当につきましては、許可いたしません。

入 場 券

- 金 額 一般 1,800円（プログラム付き）
小・中学生、高校生 1,300円（プログラム付き）
注意事項 ・申し込み後の変更は出来ません。（9月1日まで申し込み分）
・幼児は座席を使用する場合は有料（小・中学生、高校生料金）となります。
申し込み 「入場券申込書」に記入し、「参加申込書」と共に送付してください。
※追加発送希望の団体は9月15日～9月22日の期間に「追加入場券申込書」で申し込んでください。
支払方法 指定口座に9月1日（金）迄にお振り込みください。
発 送 9月中旬に発送を予定しています。出場団体関係書類に同封します。

プログラム

- 入場券と引き替えに配付します。
※各団体構成メンバー人員分は当日のチェックイン時に配付します。

集合写真

- 指定業者様より各団体に案内があります。
※演奏演技中のスナップ写真については、特別協賛のフォトクリエイトが担当します。

ビ デ オ

- 指定業者様より各団体に案内があります。

一般観客へのインフォメーション

次の点について、徹底させてください。

- 1 会場敷地内に一般観客用の駐車場はありません。真駒内公園全体の駐車場が対象ですが、行事の重複にて大変混み合います。また、路上駐車も近隣の迷惑の為、通報も徹底して、警察当局が厳しく取り締まっています。公共交通機関でご来場いただけますようご協力をお願いします。
- 2 客席からの写真及びビデオ撮影は禁止。（見つけ次第、当実行委員会で没収します。）
- 3 客席での飲食はご遠慮ください。なお会場ロビーにおいては飲食可となっております。
- 4 会場には暖房設備がございませんので、天候に合わせて暖かい服装でお越しください。

□実施要項に関する問い合わせ先

〒061-1448

恵庭市相生町30-1

第35回記念北海道マーチングバンドフェスティバル実行委員会

総務 高階亜希

FAX: 0123-32-6635

審査要領

○マーチングバンド部門・ステージマーチング部門、審査規定等

(1) 審査方法

- ①審査員は最大3名とし、各審査員は審査項目に照らし小学生の部・中学生の部は100点法、高等学校の部・一般の部は200点法で採点し、小数点以下は使用しない。
- ②審査項目は次の通りとする。
 - 「小学生」1. 全体的演奏・演技の調和
 - 「中学生」1. 全体的演奏・演技の調和及び演奏技術と表現力
 - 「高校生、一般」1. 音楽と視覚の調和、2. 演奏の調和及び技術と表現、
3. 演技の調和及び技術と表現審査項目の細目は各審査項目のクライテリアに準じ段階（BOX）に点数範囲を設定する。
- ③各審査員の採点を合計し、罰則に課せられた減点を差し引いたものを各団体の得点とする。
- ④得点に基づいて金・銀・銅の各賞を授与し、得点の高いものを上位として順位と全国大会推薦団体を決定する。得点が同点の場合は審査員全員の協議により上位を決定する。
- ⑤第1部については、採点を行わず審査員による講評のみとする。
- ⑥審査員は、講評をICレコーダーに録音又は、審査用紙に記入する。

(2) 審判

- ①審判員は審査用紙に基づき、参加資格および演奏演技中の違反について審判する。
- ②審判員は白旗にて入退場の指示を行い、赤旗にて違反警告を行なう。
※7 罰則についても、ご確認ください。

(3) 小学生の部

① 審査項目

全体的演奏・演技の調和

全体的演奏・演技の調和	
演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。	
全体的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構成 「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。 ・音楽と視覚の調和 音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。 ・ミュージシャンシップ 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。 ・完成度 安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。
音楽的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現 テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができていないか。 ・バランスとブレンド ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができていないか。 ・強弱 美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。 ・統一感 イントネーション等がそろっていないか。
視覚的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現 テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができていないか。 ・ポジションワーク インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できていないか。 ・動作の鮮明度と同一性 動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっていないか。 ・リカバリー ミスに対して適切な対応をしているか。

② 審査基準（クライテリア）

全体的演奏・演技の調和	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。 ・メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。 ・テンポの維持や変化が適切になされている。 ・楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。 ・ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。 ・メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面が見受けられる。 ・テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。 ・楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。 ・ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。 ・メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果に訴えることができている場面がない。 ・テンポの維持や変化が不正確である。 ・楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールも不十分である。 ・ポジションワークや形、タイミングが揃った動きの表現があまりなされておらず、リカバリーしようとする姿勢も不足している。

(4) 中学生の部

①審査項目

全体的演奏・演技の調和及び技術と表現力

全体的演奏・演技の調和	
演奏・演技全体を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。	
全体的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・全体構成 「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」の変化や「起承転結」等の構成を理解した、メリハリが感じられる演奏・演技になっているか。 ・音楽と視覚の調和 音楽効果と視覚効果の調和を意識した演奏・演技をしているか。 ・ミュージシャンシップ 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。 ・完成度 安定感のある仕上がった演奏・演技になっているか。
音楽的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現 テンポ、音色、音程等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した音楽表現ができていないか。 ・バランスとブレンド ステージング（フォーメーションの中での楽器の配置）を考えながら、管楽器内、打楽器内、管楽器と打楽器のバランスやブレンドに気を付けた合奏ができていないか。 ・強弱 美しい音質を保ちながら、強弱の差が効果的に表現されているか。 ・統一感 イントネーション等がそろっているか。
視覚的表現	<ul style="list-style-type: none"> ・表現 テンポ、緩急等に気を付け、楽曲のスタイルや曲想を理解した動きの表現ができていないか。 ・ポジションワーク インターバル（横の間隔）やディスタンス（縦の間隔）等に気を付け、全体のフォーメーションに貢献できているか。 ・動作の鮮明度と同一性 動作がはっきりとして正確で、形やタイミングがそろっているか。 ・リカバリー ミスに対して適切な対応をしているか。

②審査基準（クライテリア）

全体的演奏・演技の調和	
段階 A	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテ（動き方を図とコメントで示したもの）の意図を伝えようとする意欲は充分で、ミュージシャンシップが強く発揮されている。 ・メンバー（演奏・演技者）の演奏と動きが十分に調和されており、多くの場面で観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている。 ・テンポの維持や変化が適切になされている。 ・楽曲のスタイルや曲想を的確に反映した音楽表現がなされ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが適切になされている。 ・ポジションワークや形、タイミングがそろえられたはっきりとした動きの表現がなされ、リカバリーも適切にされている。
段階 B	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップを感じ取ることができる。 ・メンバーの演奏と動きが概ね調和されており、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面も見受けられる。 ・テンポの維持や変化が概ね正確に実施されている。 ・楽曲のスタイルや曲想を反映した音楽表現を行おうとする意欲が感じられ、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールが概ねなされている。 ・ポジションワークや形、タイミングが概ねそろえられた動きの表現がなされ、リカバリーしようとする姿勢が感じられる。
段階 C	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲やコンテの意図を伝えようとする意欲やミュージシャンシップがあまり感じられない。 ・メンバーの演奏と動きが調和されている場面が少なく、観客の耳と目に相乗効果的に訴えることができている場面がない。 ・テンポの維持や変化が不正確である。 ・楽曲のスタイルや曲想を意識した音楽表現があまりなされておらず、場面ごとのバランスとブレンドや強弱のコントロールも不十分である。 ・ポジションワークや形、タイミングが揃った動きの表現があまりされておらず、リカバリーしようとする姿勢も不足している。

(5) 高校生・一般の部

①ーア 審査項目

音楽と視覚の調和

<p>作品の全体的調和</p> <p>ショー全体のコーディネーションを音楽的な要素と視覚的な要素との結びつきをふまえて総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーション ショーの流れに「緩急」「強弱」「喜怒哀楽」や「起承転結」を感じさせる変化があるか。また、無理のない流れがあるか。クライマックスが表現されているか。 ・各セクションの組合せに調和や変化が感じられるか。 ・音楽と視覚の調和 音楽と視覚が調和されているか。 ・独創性と多様性 作品が独創性に優れ、なおかつ多様性に富んでいるか。 	<p>作品の解釈と表現</p> <p>ショー全体の解釈と表現を音楽的な要素と視覚的な要素の結びつきをふまえて総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の幅と質 作品が意図するところを理解し、強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現に幅をもたせているか。また、それらを高めようとしているか。 ・ミュージシャンシップとショーマンシップ 観客を意識し、アピールしようとする姿勢が一貫しているか。また、観客とのコミュニケーション（伝達）が良好か。 ・完成度 内容を把握し、ミスやエラーのない演奏・演技になっているか。表現の幅と質が作品の意図するところを理解したものとなっているか。また強弱や緩急、喜怒哀楽などの表現が完成したものであるか。
---	--

②ーア 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階 5	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体において調整が行き届いており、違和感はほとんど無い。 ・作品全体の構成、処理は、バラエティーに富んでおり、部分的な処理にも多様性が感じられる。 ・色彩的にも豊かであり、かつ音楽との整合性もあり効果的である。 ・場面ごとに多くの、聴かせ所や見せ場があり、それらが大変うまく強調されており、非常に効果的である。 ・作品全体を通して常に平均的なレベル以上の効果が生み出されており、長い時間観客を引き付ける事に成功している場面が多々ある。 ・ほとんどの場面で、解釈、処理が独創的かつ高度であり、それらが効果に密接に結びついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏・演技者による作品の理解は充分かつ高度で、観客とのコミュニケーションは常に円滑で密度も高く行われている。 ・ほとんどの場面で演奏・演技者の集中力は常に深く継続しており、観客は作品の意図を充分理解し楽しむ事が出来る。 ・演奏・演技者による感情表現は幅広く、質的にもバラエティー豊かに表され、観客を度々魅了し感動させる。 ・ほとんどの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップが常に強く発揮され、観客が感動する場面が度々ある。
段階 4	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏・演技者による作品の理解は充分かつ高度で、観客とのコミュニケーションは常に円滑で密度も高く行われている。 ・ほとんどの場面で演奏・演技者の集中力は常に深く継続しており、観客は作品の意図を充分理解し楽しむ事が出来る。 ・演奏・演技者による感情表現は幅広く、質的にもバラエティー豊かに表され、観客を度々魅了し感動させる。 ・ほとんどの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップが常に強く発揮され、観客が感動する場面が度々ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏・演技者による作品の理解は充分で、観客とのコミュニケーションは高いが、伝わりきらない場合がある。 ・多くの場面で演奏・演技者の集中力は安定しているが、作品の意図が継続的に伝わらない場合もある。 ・演奏・演技者による感情表現の幅は広く、観客が心を動かされる場面も少なくないが、伝わらない場合もある。 ・多くの場面で演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階 3	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体において調整されている様に感じられるが、調整が不足している部分も少なくない。 ・作品全体の構成、処理にバラエティーも感じられるが、平淡に感じられる部分もある。 ・やや、全体的な色彩が単調で、音楽との整合性も不足している。 ・聴かせ所や見せ場と感じられる部分もあるが、十分な効果を出し得てはいない。 ・効果的と思える部分はあるが、断片的であり、長続きしない場合が多い。 ・独創的な解釈、処理がなされていると感じられる部分があるが、多くはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏・演技者による作品の理解は得られているようだが、観客とのコミュニケーションは十分ではない。 ・ある程度、演奏・演技者の集中力を感じる部分もあるが、作品の意図が継続的に伝わらない。 ・演奏・演技者は作品が持つ感情表現も感じさせているが、観客の感情を操作するには至らない。 ・ある程度、演奏・演技者のミュージシャンシップやショーマンシップは発揮されているが、観客を感動させられない場合もある。
段階 2	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体において調整されている部分が不足しており、違和感も多く感じられる。 ・作品全体の構成、処理、色彩が平坦に感じられる。 ・聴かせ所や見せ場と感じられる部分が不足しており、その多くが効果を発揮していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏・演技者による作品の理解は不足しており、観客とのコミュニケーションも不十分である。 ・演奏・演技者の集中力が不足しており、作品の意図が伝わらない。 ・演奏・演技者による感情表現はあまり感じられない。
1 段階	<ul style="list-style-type: none"> ・作品全体が調整されている様には感じられず、雑然としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏演技者による作品の理解は未熟で、観客に対する意識も希薄である。

演奏の音楽性	演奏の質と技術
<p>演奏の音楽性がいかに優れているかを、管楽器・打楽器の両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現力 音楽的表現がいかに幅広く多様で音楽の内容をよく理解しているか。 ・フレージング 曲想に合ったフレージングがなされているか。統一されているか。 ・ダイナミックレンジ 強弱が適切かつ統一されているか。その範囲がいかに幅広い。 ・バランスとブレンド バランスとブレンドのコントロールがどのように行なわれているか。 ・テンポ テンポの維持・コントロールがどの程度正確かつ適切に行なわれているか。 	<p>演奏の質や、全体的な技術がいかに優れているかを、管楽器・打楽器両面にわたって、演奏者全体もしくは各セクションに関して判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な音質 全体的な音質が美しいか。 ・チューニング チューニングが的確になされているか。 ・イントネーション イントネーションがどれだけ揃っているか。 ・リズムコントロール リズムコントロールが適切にされているか。 ・タイミング タイミングが正確に揃っているか。 ・フォーカス（音の方向性・指向性） フォーカスコントロールがどの程度適切で、かつ揃っているか。

②ーイ 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階 5	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現は常に幅広く深みがあり、内容も多様である。 ・フレージングは常に曲想的に反映したもので、乱れはほとんど感じられない。 ・バランスとブレンドのコントロールは常に適切に整えられている。 ・テンポは常に正確に維持され、その変化のコントロールも柔軟かつ確実で乱れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音質は常に美しく整えられ、乱れが感じられることはほとんどない。 ・チューニングは正確で、ピッチが不ぞろいな部分はほとんどない。 ・イントネーションは良くそろえられており、違和感はほとんどない。 ・リズムコントロールはほとんどの場面で適切に行われ、自然な流れが保たれる。 ・タイミングに対する理解が的確で、乱れることはほとんどない。 ・フォーカスコントロールは常に適切で、音がバラバラの向きに飛ぶようなことはほとんどない。
段階 4	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現は多くの場面で適切になされているが、幅深みに不足を感じる部分もある。 ・フレージング多くの場面で曲想を反映しているが、乱れを感じる部分もある。 ・ダイナミックレンジは広く、多くの場面でコントロールされているが、乱れを感じる部分もある。 ・テンポは維持され、その変化も多くの場面でコントロールされているが、乱れる場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音質は多くの場面で美しく整えられているが、乱れが感じられることもある。 ・チューニングは概ね正確だが、ピッチがふぞろいに感じられる部分もある。 ・イントネーションは概ねそろっているが、違和感がある部分もある。 ・リズムコントロールは多くの場合適切だが、流れが損なわれる場面もある。 ・フォーカスコントロールは多くの場面で良好だが、音の向きががまとまりに欠け、やや拡散することがある。
段階 3	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現はある程度なされているが、幅広さに欠け、単純に感じられる。 ・フレージングはある程度整えられているが、不足を感じる。 ・ダイナミックレンジはやや狭く、コントロール不足を感じる。 ・バランスとブレンドはある程度整えられているが、不足を感じる。 ・テンポはある程度維持されているが、その変化をコントロールしきれずに乱れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音質はある程度美しく整えられているが、不足を感じる。 ・チューニングはある程度そろっているが、ピッチがふぞろいな部分も多い。 ・イントネーションはある程度そろっているが、違和感がある部分も多い。 ・リズムコントロールはある程度なされているが、不自然さを感じる部分が多い。 ・フォーカスコントロールはある程度なされているが、音がバラバラと拡散する時間が長い。
段階 2	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な表現が不足しており、表現も単調である。 ・ダイナミックレンジは狭く、あまりコントロールされていない。 ・フレージングはあまり整えられておらず、ふぞろいである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音質を美しく保とうとする努力が不足している。 ・チューニングは大雑把であり、ピッチがそろわない場面も多い。 ・リズムやタイミング、フォーカスの理解が不足している。
段階 1	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的に何かを表現しようとしているようには感じられない。 ・フレージングやダイナミクスが設定されているようには聴こえない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音質を美しく保とうとしているようには聴こえない。 ・チューニングやリズムは不正確で、そろっていない。

高校生・一般の部

①ーウ 審査項目

演技の調和及び技術と表現

<p>視覚要素（フォーム、ボディ、手具）</p> <p>演技の構成がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統一性 視覚的構成がいかによりまとまっているか。 ・視覚的音楽性（フレージング、解釈、強調） 視覚的構成がいかにより音楽的であるか。 ・表現力 視覚的表現がいかにより豊かであるか。 ・多様性 視覚的構成がいかにより多様であるか。 	<p>演技の質と技術</p> <p>演技の質や全体的な技術がいかにより優れているかを、演技者全体もしくは各セクションに関して判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一性 同じ動作がいかにより同じようにできているか。 ・全般的技術 全般的な動作の技術がいかにより優れているか。 ・アーティキュレーション 動作のアーティキュレーションがいかによりそろっているか。 ・鮮明度 動作がいかによりはっきりと、かつ明瞭に行なわれているか。 ・リカバリー リカバリーがいかにより早い。
--	---

②ーウ 審査基準（クライテリア）

	作品の全体的調和	作品の解釈と表現
段階5	<ul style="list-style-type: none"> ・統一性は十分に常にまとまっており、乱れる部分はほとんどない。 ・視覚的構成に音楽が十分に反映しており、違和感を感じることは少ない。 ・手具が効果的に使用され、かつ音楽を視覚的に表現する効果を十分に発揮しており、違和感があることは少ない。 ・視覚的に豊かな表現がなされ、不足に感じる部分が少ない。 ・多様性に大変富んでおり、状態の変化も常に継続して行なわれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に高い動作の同一性を保ち、不揃いな部分は少ない。 ・ほとんどの場面で継続した技術の優秀性を発揮し、未熟さを感じる部分は少ない。 ・アーティキュレーションは十分整っており、不ぞろいな部分は少ない。 ・動作は常に鮮明で、はっきりとしている。 ・ほとんどの場合、リカバリーは素早く、的確になされる。
段階4	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの場面で視覚的に統一され、まとまっているが、乱れる部分が時々気になる。 ・多くの場面で視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、違和感を感じる場面も少しある。 ・多くの場面で手具などが効果的に使用され、音楽を反映した表現が見られるが、違和感があることが少しある。 ・多くの部分で豊かな視覚的表現がなされるが、もの足りなさを覚える部分も少しある。 ・多様性は豊かではあるが、単調な部分もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作は概ね同一性を保っているが、不揃いな部分もある。 ・多くの場面で技術の優秀性を示すが、未熟さを感じる場面もある。 ・アーティキュレーションは概ねそろっているが、気になる部分もある。 ・動作は鮮明だが、はっきりしない部分もある。 ・多くの場合、リカバリーは迅速にされるが、時折時間が掛かる場合や不完全なことがある。
段階3	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、視覚的に統一されているが、まとまりのない部分も少なくない。 ・ある程度、視覚的構成に音楽を反映している部分が見られるが、全体的に不足している。 ・ある程度、手具などの効果的な音楽表現があるが、もの足りない。 ・豊かな表現力を感じられる部分もあるが、全体的にももの足りない。 ・多様に变化する部分も感じられるが、単調な状態が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、動作は揃っているが、不揃いな部分が多い。 ・高度な技術の習得を示す部分を感じられるが、全体的に未熟さが見える。 ・整ったアーティキュレーションを感じる部分もあるが、不十分な場面が多い。 ・鮮明な動作を感じる部分もあるが、はっきりしないことが多い。 ・リカバリーはされるが、時間が掛かることが多く、不完全な場合が少なくない。
段階2	<ul style="list-style-type: none"> ・統一感が不足しており、まとまりも感じられない。 ・視覚的構成に音楽性を感じられる部分はあまりない。 ・手具などの表現に音楽性を感じる部分が少なく、その効果も感じられない。 ・表現力を感じることができず平坦である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作が揃っている部分が少なく、それぞれの動きも十分ではない。 ・良好な技術を示すことが少なく、初歩的な範囲から脱しきれていない。 ・アーティキュレーションがそろっておらず、不鮮明であ
段階1	<ul style="list-style-type: none"> ・全てにおいて不ぞろいで、まとまりがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ内容の動作をしているように見える場面がない。 ・初歩的な動作の技術の習得が不足している。